



### クリストフ・デジャルダン (ヴィオラ) Christophe Desjardins

1962年、フランス北西部カーン出身。パリ音楽院、ベルリン芸術大学にて学ぶ。パリ音楽院管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、リヨン国立管弦楽団、ポルトガル交響楽団など、ソリストとして多くのオーケストラと共演を重ねた後、1990年にピエール・ブーレーズ率いるアンサンブル・アンテルコンタンポランのメンバーとなり、ダルバヴィー作曲「ディアデーム」、ジャレル作曲「アソナンスⅣ」、ペリオ作曲「セクエンツァⅥ」、ブーレーズ作曲「セサジュキース」、レヴィナス作曲「レットルザンラサー」、ハーヴィー作曲「ジュピルス」など数多くの作品の演奏録音に携わる。2005年に発表したソロ・アルバム「ヴォワダルト」(ヴィオラ・ヴォイセズ)では、ペリオやフェルドマンの名演を世界中で高く評価されている。ドイツのデトモント音楽大学とリヨン国立音楽大学において後進の指導に携わり、米国ジュリアード音楽院等での特別講座も積極的に行う。2012年の秋には、サントリーホールで行われた「ポリーニ・パースペクティブ」のソリストとして来日している。



### クリストフ・ルブルトン (音響デザイナー) Christophe Lebreton

1967年、パリ生まれ。幼少からピアノとギターのレッスンを受けるが、大学では科学を学び、1989年よりGRAMEに所属。ミッシェル・スタイヴナール等に出会い、サウンド・エンジニアとしての研鑽を積んで行く。ライブ・エレクトロニクス、ライブ・インスタレーション・システム、レコーディング・プロダクション、スタジオ・リアライゼーション、ハードウェアの開発、Maxを応用した音楽創作のアシストなど、音楽創作のための新しいツールや作曲家のためのシステムの開発研究に携わっている。2004年、ティエリー・ドゥメイ作曲「ライト・ミュージック」(1人の指揮者、プロジェクター、モーション・ディテクション・システム、)の制作以降、「楽器の遠近法」と彼自身が名付ける新しい音響手法を探求している。

### フランス国立音楽創作センター GRAME, Centre national de création musicale



GRAME(グラーム)は、1982年にピエール=アラン・ジャフルノーとジェームス・ギロードンによって設立された、音楽創作研究のためのフランス国立機関である。新しい音楽における創作概念からプロダクション、ディストリビューションまでをミッションとして掲げ、音楽と科学の発展のための研究を押し進めると共に、クリエイターと一般聴衆の間を取り持つための重要な役割をも果たしている。1992年に始められた、多角的領域に関わる音楽創作のためのショーケース「ミュージック・アン・セーヌ」は、2002年以降、バイエンナーレ・フェスティバルとして開催されるまでになった。GRAMEはメインのリサーチ・ラボの他に2つの作曲スタジオを有し、作曲家と演奏家によるコラボレーション、ゲスト作曲家による作品制作などを合わせて、年間20作品にのぼる新作の創作をサポートし、世界初演を行っている。GRAMEが手掛ける作品は、mixed media(楽器+電子音響)作品、シアター作品、公的イベント、音響インスタレーションなど多岐にわたり、ヨーロッパ全域から北アメリカ、中国まで幅広くプロダクションを展開している。

### 尚美パストラルホール 交通アクセス

〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1

- 池袋から特急で27分 急行で29分
- 東武東上線、JR埼京線・川越線「川越駅」より無料スクールバスで10分
- 西武新宿線「本川越駅」より無料スクールバスで15分

<http://www.shobi-u.ac.jp/about/access/>

